



くりはら 市議会だより

第55号

平成30年2月1日



議会報告会 市民から121件の声 2

一般会計補正予算3035万円を減額 4

5委員会 先進地に学ぶ 8

一般質問 まちづくりに19人登壇 10

「私もひとこと」

齋藤

義憲さん

(築館)

・佐藤

けい子さん

(若柳)

20

平形八幡神社にて新年祈願(金成)
(平形親睦会の皆さん)

市民141人から121件の声 議会報告会を開催

市議会では「栗原市議会基本条例」に基づき、市民から信頼され、開かれた議会を目指し、10月31日から11月2日まで10地区において「議会報告会」を開催しました。

議会報告会には141人の市民が参加し、放射性廃棄物の問題など121件に及ぶ意見や要望が寄せられました。主な内容を掲載します。

皆さんから寄せられた意見や要望は議会で調査するとともに、市政に関する要望については12月19日に議長から市長に文書で提出し、1月11日に回答がありました。栗原市のホームページには議会報告会の報告書など、すべて公開しています。

議会報告会に参加した人数

地区	会場	人数
築館	市民活動支援センター	4人
若柳	若柳多目的研修センター	13人
栗駒	栗駒総合支所	25人
高清水	高清水総合支所	7人
一迫	一迫総合支所	10人
瀬峰	瀬峰総合支所	17人
鶯沢	鶯沢振興センター	11人
金成	金成生涯学習センター	10人
志波姫	この花さくや姫プラザ	31人
花山	花山石楠花センター	13人
合計		141人



地域の課題が見えた報告会

議会のあり方を協議

問 議会のあり方調査特別委員会について聞きたい。

答 3つの分科会を設置し、「議員定数・ICT化等」「議員報酬等」

「議会運営等」のそれぞれの分科会において協議を進めていく。調査期限は設けていないが、決定された順から随時実施していくことにしている。

汚染牧草について

問 汚染牧草の堆肥化実験では放射性物質は不検出とのことだが、汚染稲わらの処理についてどうなっているのか。

答 8000ベクレルを超える指定廃棄物については、環境省で調査

は一時棚上げとなっている。栗原市議会としては、最終処分場の深山嶽への建設については、絶対反対との意見で一致している。特別委員会ではこれからも調査をしていく。

有害鳥獣対策

問 有害鳥獣対策が後手後手に回っている。立派な計画を作っているが、予算を調べると300万円弱だった。立派な計画書を作っても予算が少ない。被害対策をもっとやってほしい。予算を伴った実のある計画をお願いしたい。

答 今年はクマ、イノシシが非常に多い。国でも保護から管理する方向に見直しがされており、県でもこの方針に沿った計画が作成されている。議会的一般質問でも鳥獣対策について取り上げているが、今後市に議会として粘り強く要請していきたい。

今年、有害鳥獣対策が後手後手に回っている。立派な計画を作っているが、予算を調べると300万円弱だった。立派な計画書を作っても予算が少ない。被害対策をもっとやってほしい。予算を伴った実のある計画をお願いしたい。



貴重な意見が多く出された

特集

世界谷地の木道工事

問 世界谷地の第一湿原、第二湿原の木道工事はどうなっているのか。

答 第一湿原は工事が終わり、第二湿原はまだ来年も工事が続く。県は完了するまで工事を実施する。

デジタルセンターはいつつから

問 栗駒山麓デジタルセンターは、いつから利用できるのか。展示の内容、どういう人たちが担当して運営していくのか。

答 平成30年12月にオープン予定である。荒砥沢ダムの崩落、地質の成り立ちなどを紹介し、栗駒山の春夏秋冬を映像で

問 流したりする。ジオガイドが説明する所もある。また、防災教育や地域の活性化のため、多くの方々に来ていただいで観光に結び付けようと考えているようである。運営形態は、まだはつきりしていない。

市長からの回答

主な内容を掲載します。

問 職員の質の向上が大切だと思う。本気になって市民サービスを考えているのだろうか。要望したことの実現までに何年もかかった。

答 「栗原市人材育成基本方針」に基づき、職員研修や職場環境の整備等を進めながら、職員の資質向上を図るとともに、迅速かつ的確な業務遂行に努める。

問 介護用オムツの補助について登米市で

答 職員質の向上に関わらず補助があるようだ。栗原市でもできないか。

問 栗原市では、要支援・要介護認定を受けて、在宅で生活している方に介護用品給付券を交付している。要支援1から要介護3は月2000円の給付券。要介護4から5は月5000円の給付券。

答 要介護認定を受けて、在宅で生活している方に介護用品給付券を交付している。要支援1から要介護3は月2000円の給付券。要介護4から5は月5000円の給付券。ただし、介護保険制度を安定して持続させていくため「住民税非課税世帯」に限定しており、支給要件の

問 高清水新堤自然公園の管理棟、洗い場は老朽化で活用されていないので、改修整備をすべきではないか。被害を受けた松林を伐採し、整備してはどうか。

答 この公園は、市民および周辺企業の交流と親睦の場として活用されており、管理棟、洗い場などの公園施設については、随時、不具合箇所を修繕していく。

問 イノシシ、サル、シカ、数が増えている。去年は81頭のイノシシを山に穴を掘って埋めて処分している。市の処分所を作って欲しい。

答 捕獲謝礼や処理方法について、他の自治体の取り組み事例を参考に、鳥獣被害対策実施隊などの関係機関と協議し検討していく。



市民に説明する議会議員



再編のため整備される瀬峰中学校

補正予算

平成29年度一般会計

12月補正3035万円減額を可決

12月定例議会では、平成29年度一般会計で、3035万8000円を減額し、総額475億5686万7000円とする補正予算を可決しました。
 また、国民健康保険特別会計など7つの特別会計の補正予算を可決しました。
 さらに、人事院勧告に伴う、人件費の補正予算が追加提案され、一般会計で、5063万9000円を追加し、総額476億750万6000円とする補正予算を可決しました。

歳入

歳入の主な内容は、内示に伴う国・県支出金の増減補正や、財政調整基金繰入金の繰り入れ戻し及び台風21号などの災害復旧事業費の追加などです。

歳出

歳出の主な内容は、人事異動に伴う人件費の増減や放課後児童クラブ委託料の精査による減額などです。
 主な事業は次のとおりです。
 有害鳥獣対策の追加236万円、高清水・瀬峰中学

追加提案の補正内容

一般会計及び各特別会計で、人事院勧告による給与改定に伴う職員人件費などの追加です。

各学校再編に伴う測量設計業務委託料1120万円の追加などです。
 各特別会計の補正予算の主な内容は、職員の人事異動に伴う人件費の補正などです。

指定管理

4団体に指定管理者が決定

金田公民館、
 一迫農村環境改善センター

管理者 一迫地区金田
 コミュニティ推進協議会

期間 平成30年4月1日
 から平成31年3月31日まで

管理料 375万円
 (限度額見込み)

長崎公民館

管理者 一迫地区長崎
 コミュニティ推進協議会

期間 平成30年4月1日
 から平成31年3月31日まで

管理料 320万5000円
 (限度額見込み)

姫松公民館、
 一迫農村婦人の家

管理者 一迫姫松地区
 コミュニティ推進協議会

期間 平成30年4月1日
 から平成31年3月31日まで

管理料 327万円
 (限度額見込み)

小田ダム湖畔パークゴルフ場

管理者 協業組合
 アクアテック栗原

期間 平成30年4月1日
 から平成35年3月31日まで

管理料 536万円
 (限度額見込み)

※指定管理とは
 公の施設の管理・運営を民間に代行させる制度のこと。

条例

12月定例議会で可決した、条例改正について主な内容をお知らせします。



建設中の花山診療所

職員の育児休業等に関する条例改正

雇用保険法等の改正により地方公務員の育児休業等の法律が改正されたため、条例で定める非常勤職員の育児休業期間について、保育所に入れない場合に限り、さらに6ヶ月延長し2歳までにしました。

部設置条例改正

基幹産業である農業分野の強化、観光振興、道の駅の整備などを強く推進するため、「産業経済部」を、農業分野を所管する「農林振興部」と商工観光分野を所管する「商工観光部」に組織再編します。

平成30年4月1日から施行。

くりこま高原駅 オアシスセンター条例改正

オアシスセンターを総合的な観光情報発信拠点とし、市民と観光客の交流の場とするため、施設の設置および

び運営について改めます。平成30年4月1日から施行。

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律改正及び農村地域工業等導入促進法改正に伴う関係条例の整理に関する条例

右記の法律が改正されたことに伴い、関係条例の題名、引用する法律の名称、条項などを改めました。あわせて、農村地域工業等導入促進法における課税免除の根拠規定が削除されたので、この法律に基づく課税免除の条例を廃止します。

市営住宅条例改正

公営住宅法、公営住宅法施行令及び公営住宅法施行規則が改正されたので、引用条項などを改めました。

市立診療所条例改正

花山診療所が移転することに伴い、所在地を変更し

ます。平成30年3月1日から施行。

職員給与条例改正

平成29年人事院勧告に基づき、市職員の勤勉手当0・1月分、給料を約0・2%上げました。

常勤特別職の給与及び期末手当条例改正 市議会議員の報酬、費用弁償、期末手当条例改正

平成29年人事院勧告に基づき国の特別職の給与改正がなされました。国の改正に基づき、市長、副市長、病院事業管理者、教育長の期末手当の支給率を0・05月分引上げ年3・3月分になりました。

これまで市議会議員の報酬や期末手当は、市長などの常勤特別職の状況に応じて改正してきました。

今回、期末手当の支給率を市長などと同様に0・05月分引上げ、年3・3月分にしました。

議員一人当たりの引上額は約2万円です。

市立学校設置条例改正

栗原中央病院に設置している宮野小学校栗原中央病院分校及び築館中学校栗原中央病院分校を廃止します。平成30年4月1日から施行。

保育所、幼稚園任期付職員採用等条例改正 少人数学級編成実施に係る任期付市費負担教員採用等に関する条例改正

平成29年人事院勧告に基づき、給料月額引上げを行いました。

陳情

12月定例会に4件の陳情書が提出されました。

ヒバクシヤ国際署名への署名と日本政府へ核兵器禁止条約の批准を求める意見書提出のお願い

宮城県原爆被害者の会
ヒバクシヤ国際署名連絡会
宮城 代表 炭谷良夫さん

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書の提出について

宮城県春闘共闘会議
代表幹事 高橋正行さん

介護福祉施策の充実を求める国への意見書提出に関する陳情書

NPO法人
介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ

理事長 内館昭子さん
平成30年度税制改正に関する提言について

一般社団法人
宮城県法人会連合会
会長 菅原一博さん
ほか1人

人事

○人権擁護委員の推薦に同意

本多 究 美さん（若柳） 再任
仁木 久 恵さん（瀬峰） 再任

請願

「鳥獣被害対策に関する請願」を採択

【請願の趣旨】

野生鳥獣による農林業被害や家屋被害が全国的な問題となっている。

栗原南部および栗原北部の猟友会は、もともと多い時には350名以上の会員を有していたが、現在では、高齢化などにより3分の1まで減少している。

一方、栗原市内におけるイノシシやシカ、ツキノワグマなどは年々増加し、最近ではサルも見られるようになり、農作物への被害も増大し、耕作放棄地への拡大につながっている。

若い方々に関心を持ってもらうためにも、隊員の待遇改善と負担軽減について、以下の点について請願する

要望事項

- ①待遇改善について
- ②捕獲奨励金制度の新設について
- ③有害駆除したイノシシやシカ、ツキノワグマの処理について

討論

12月定例会では、次の3議案について、賛成または反対の立場で、それぞれ意見を述べました。

発議第5号 栗原市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について

菅原 勇喜 議員

月額議員報酬は県内14市中5番目で年間総額でも7番目である。栗原市民一人当たり平均所得年収は平成

28年250万5499円で県内35市町村中27番目、14市中最低位の14位である。4年連続の議員期末手当引き上げは到底市民の理解は得られないと考えるものである。

賛成 三塚 東 議員

持続可能な「栗原創生」の担い手として意欲のある人や若い人が議員に立候補しやすい環境づくりが必要である。また、多様な市民の意思や意見・提言を政策として実を結ばせ、住民福祉の増進を実現することも議会の重要な役割であり、議員に課せられた使命だ。

発議第6号 核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書について

反対 佐々木嘉郎 議員

日本が平和でひたすら経済活動を続けられるのは、日米同盟があつてこそ。日本列島はロシア・中国・朝鮮半島から干渉は避けられない位置にある。現実、米国の守られていながらの条約参加は、安全保障政策と矛盾したものになりかねない。現段階で反対だ。

賛成 佐藤 悟 議員

72年前、広島・長崎市に原爆が投下され、21万人余が死亡した唯一の被爆国で、非核3原則を堅持し、平和外交を進めて来た。市は、平成22年「核兵器廃絶平和都市宣言」を行っている。非人道的な核兵器廃絶のため、日本のリーダーシップが求められる。賛成する。

議案第147号 平成29年度栗原市一般会計補正予算(第7号)

反対 菅原 勇喜 議員

発議第5号栗原市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について反対した。本議案は同改正条例に基づいて、議会費に52万8000円増額補正されているのでその点に関して反対するものである。

12月定例会での審議結果（意見が分かれた議案について掲載しました）

議案氏名	議決結果	採 決 結 果																										
		佐藤 庄喜	小野 久一	澤邊 幸浩	佐藤 千昭	佐藤 範男	鹿野 芳幸	高橋 勝男	高橋 義雄	五十嵐 勇	石川 正運	高橋 涉	三塚 東	沼倉 猛	高橋 将	佐藤 悟	三浦 善浩	菅原 勇喜	佐藤 文男	阿部 貞光	濁沼 一孝	菅原 正剛	佐藤 久義	佐藤 勇	佐々木嘉郎	相馬 勝義	瀬戸健治郎	
発議第5号	可決	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	反	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	—
発議第6号	否決	反	賛	反	反	反	反	賛	反	反	反	反	反	賛	反	賛	反	賛	賛	反	反	反	反	反	反	反	反	—
議案第147号	可決	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	—

※ 「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒賛成しなかった議員、「—」⇒議長のため採決に加わらない

議案審査

12月定例会に提出された補正予算や条例は、総務常任委員会、産業建設常任委員会、文教民生常任委員会のそれぞれの常任委員会に付託され議案の審査を行いました。主な質疑を掲載します。

プロモーション映像で栗原をPR

問 市のプロモーション映像制作は、どのようなイメージで作り、どう放映されるのか。

答 栗原の日常生活として、市内に住む家族と、その地域の人々の暮らしを記録したものをイメージしている。ユーチューブの栗原市公式チャンネルでPRしたい。

ホテルなどを改修くりはら交流プラザ

問 くりはら交流プラザの改修事業について、これまでの改修などの経緯はどうか。

答 これまでは、平成23年の地震の際に大規模な修繕を実施したほか、細かな修繕は毎年行っており、近年、特に修繕箇所が多くなってきている。今回の改修は、18年以上の年数



改修予定のくりはら交流プラザ

経過による設備等修繕のほか、インバウンド観光、スポーツ合宿などに幅広く活用していただくために環境整備を行うものである。

産業経済部を改編専門的な取り組みを

問 現在の産業経済部を農林振興部と商工観光部の2つの部に組織改編する理由は何か。また、人員の配置はどうなるのか。

答 今回の組織改編は、農業の分野や商工業・観光の分野の強化のために行う。これまでの取り組みをより進め、さらに市長公約による新たな取り組みを専門的に進めていく。全体の職員数が限られているので大幅な増員は見込めないが、今後、業務内容などを検討していく中で、適正な人員配置に努める。

橋りょう点検業務等の委託について

問 橋りょう点検業務等委託料1000万円が増額されているが、対象箇所はどこか。また、現在市が管理する橋りょうの総数と、そのうち点検済み

及び今後の点検計画はどうなっているか。

答 今回の補正で若柳地区の北谷地橋と郡界橋及び瀬峰地区の樋渡橋の3カ所の点検業務を委託する。現在市が管理する橋は851橋あり、平成28年度までに683橋の点検を行った。また、点検計画の作成は、平成29年度に345橋、平成30年度に41橋を予定している。

下水道事業特別会計の工事請負費の増額について

問 下水道事業費の工事請負費がこの時期に1億1450万円の増額計上された理由は何か。

答 補助対象となった補填及び賠償金、2款の施設管理費でそれぞれ請負差金が生じた。このため、工事請負費に予算を組み替え、現在工事の計画がある箇所の事業の進捗を図るもの。

鳥獣被害対策実施隊の謝礼等について

問 鳥獣被害対策実施隊の費用弁償及び謝礼が増額計上されているが、



点検業務を行う瀬峰地区樋渡（ひわたし）橋

対象地区と算定根拠はどうなっているか。

答 有害鳥獣の出没・捕獲件数が多い栗駒、金成、一迫及び花山の4地区を対象とするもので、1月から3月の間に実施隊員3名体制でイノシシの捕獲を集中的に行うもの。

校舎工事・改修内容は

問 旧長崎小学校体育館電源切替等工事の内容は。

答 校舎が雨漏りにより配電盤から漏電し危険であり、校舎を経由せずに体育館に直接電気を送るための切替工事である。

併せて、自動火災報知設備の操作盤が校舎に設置されていることから、体育館に移設する工事である。

問 瀬峰中学校の校舎修繕と屋外整備は、中学校側の意見は全て反映されているのか。

答 今回の改修は、学級再編に伴い開校までに最低限必要な施設修繕であり、今回の修繕以外にも外壁や屋上の防水などの改修もあるが、それらを含めると開校まで間に合わないことから、大きな修繕は、第2次総合計画の中で大規模改修の予定があることから、そちらで対応していきたい。

総務

人事評価は人材育成型

8/22 ~ 24



明石市の人事評価制度を視察

地域交付金は
使い道が自由

兵庫県明石市では、職員
の持つ力を最大限に発揮で
きるよう、人材育成を主な
目的とした人事評価制度を
導入し、計画的かつ効率的
な人材の育成・活用に取り
組んでいます。

市は、平成28年度から人
事評価制度に取り組んでい
ます。住民サービス向上と
いう大きな目的に向け、職
員の意欲・能力を高め、よ
り良い職場環境が構築され
る制度となるよう努力すべ
きです。

調査の結果

三重県名張市では、住民
主体の地域づくり組織に対
し、ハード事業・ソフト事
業を問わない使い道が自由
な「ゆめづくり地域交付金」
を交付しています。この交
付金を活用し、地域の課題
解決に向けた事業を自ら実
施しています。また、高齢
化が進む中、地域の活動の
中心となる人材育成を目的
とした「名張ゆめづくり協
働塾」を開設していました。

調査の結果

市は「コミュニティ組織
一括交付金制度」などによ
り、地域の自立的な活動を
推進していますが、各地域
の現状や課題を的確に把握
し、地域の活性化に向けた
自主・自立の支援に積極的
に取り組むべきです。

産業建設

下水道汚泥処理事業と
中小企業振興施策を調査

10/11 ~ 13

市の下水道事業では施設
等の長寿命化を柱とした経
営効率化が進められている
ことから香川県高松市を視
察しました。高松市下水道
事業では、下水処理過程で
発生した汚泥を原料として
バイオマス発電を行い、売
電による収入増加・経営の
効率化を図るなど先進的な
取り組みを推進しています。
下水道処理汚泥を資産と考
え、積極的な活用を検討や
環境配慮への取り組みの方
策として、研究する価値の
ある事業と考えます。

また「栗原市中小企
業振興条例」の具体的
な施策を調査するため、
愛媛県松山市の事業を
視察しました。

の連携などサポート体制を
構築しています。

また、企業の担当者が興
味のある各バイヤーのプ
ースに集まる「逆商談会」を
開催したところ、300件
中40件の商談が成立するな
どの効果が現れました。
本市の中小企業振興では、
今後目標年次を定めた具体
的な施策を展開するための
計画の策定が不可欠であり
ます。



高松市のバイオマス発電事業を調査

松山市の中小企業振
興施策は、「産・学・官」
の連携による中小企業
振興円卓会議」を設置
し、市の施策の調査や
効果的な施策の提案を
行うほか、シンポジウ
ムの開催や金融機関と

文教民生

地域包括ケアシステムと
連携型中高一貫教育を調査

10/17 ~ 19



福井県立美方高校を訪問

富山県南砺市は医師数を
増やすという対策とは別に、
地域住民を教育し、有限な
医療資源を有効に利用する
ため「地域医療・地域活性
化マイスター養成講座」を
開始し、地域医療にかかわ
る人材育成に着手していま
す。

地域住民には地域医療の
ために自分たちに何ができ
るかという意識が生まれ、
自主的な活動が活発になっ
ていました。

今回の調査から、南砺市
の地域包括ケアシステムは
住民の意識改革が根底にあ
ります。

富山県南砺市は医師数を
増やすという対策とは別に、
地域住民を教育し、有限な
医療資源を有効に利用する
ため「地域医療・地域活性
化マイスター養成講座」を
開始し、地域医療にかかわ
る人材育成に着手していま
す。

富山県南砺市は医師数を
増やすという対策とは別に、
地域住民を教育し、有限な
医療資源を有効に利用する
ため「地域医療・地域活性
化マイスター養成講座」を
開始し、地域医療にかかわ
る人材育成に着手していま
す。

富山県南砺市は医師数を
増やすという対策とは別に、
地域住民を教育し、有限な
医療資源を有効に利用する
ため「地域医療・地域活性
化マイスター養成講座」を
開始し、地域医療にかかわ
る人材育成に着手していま
す。

先進地に学ぶ



北海道栗山町議会

議会運営

議会基本条例の検証と 議会改革の取組みを調査

10/24 ~ 25

北海道栗山町議会では、議会中継や情報公開などによる透明性の確保、全国2例目となる議会報告会の開催など、議会改革に取り組みながら、平成18年5月に全国に先駆け議会基本条例を制定しています。

条例制定後においては、定期的に検証を行い、議会改革推進会議、議会モニターや議会サポーターなどの新たな制度を導入し、議会の権能を最大限に発揮することに努めながら、主権者

である住民を常に意識した議会活動を展開しています。

栗原市議会では、平成23年12月に議会基本条例を制定し、その後、条例の目的が達成されているかなどの具体的な検証が実行されな

いまま現在に至っており、平成29年9月定例議会において、「栗原市議会のあり方調査特別委員会」を設置し、議会基本条例、議会運営の諸課題を含めた議会活動全般について検証していくこととしています。

その検証にあたっては、他市町村議会の先進的な事例も参考とし、住民参加、情報公開、議員の説明責任を軸としながら、住民に信頼され、時代に即応した議会のあり方について絶えず探求していくことが重要であります。

広報編集

議会広報発行に係る 編集方針、編集方法及び留意点について

11/6 ~ 7



利府町議会

市民が読みやすく、わかりやすい、親しまれる広報の紙面づくり、早期発行に関する先進事例を調査しました。

利府町議会「りふ議会だより」は、平成28年度町村議会広報全国コンクールで最優秀賞を受賞しています。

東京都あきる野市議会の「ギカイの時間」は、市民アンケートを実施し、市民が読みたくなる広報とするため検討を重ねていました。

調査の結果

利府町議会では議会の審議結果だけでなく、経過と内容をわかりやすく、正確に住民へ伝える広報を目指し、議会を傍聴しない住民

に傍聴したと同程度の情報提供することを使命としていきます。要点をとらえた文章や見出し、文字の大きさや余白の使い方など、常に読者目線で住民が読みやすいように工夫をしていました。

あきる野市議会では市民アンケート結果を受けて、毎号特集ページを設け、様々な年代や職種の方々の取材を行うなど、多くの市民に興味を持ってもらえる紙面づくりをしていました。

行政用語は「通じる言葉」に変えて、わかりやすくし、写真や読みやすい文量で親しみやすい文章構成に努め、統一感のあるデザインでした。

両議会とも限られた紙面の中で住民にわかりやすい紙面構成に工夫を凝らしており、栗原市議会だよりの編集に大変参考になりました。今回学んだ編集技術を参考にわかりやすい紙面づくりに努めていきます。

所管事務調査

ハザードマップ作成は 過去の被害状況を考慮

総務

11/13



一迫地区のふれあいタクシー情報センター

市の洪水・土砂災害や火山噴火のハザードマップ作成状況や自主防災組織の防災備品、防災指導員の活動などについて調査しました。

調査の結果

各種ハザードマップなどの作成は、地形や過去の被災状況などを十分に考慮しながら、災害発生時に住民にとつて実際に役立つものとするのが重要です。

また、各地域の自主防災組織において、活動の中心

住民生活の足の確保 地域の実情に添えて

市域の地域公共交通の現状と今後の計画などについて調査しました。市は、平成29年度中に地域公共交通再編実施計画の作成を進めており、住民や事業者などの意見を聴きながら、「使いやすく、持続可能な公共交通網」の確立を目指していきます。

調査の結果

高齢化が進み、自らの生活の足をいかに確保するかは、喫緊の課題となっています。計画の作成にあたっては、ニーズを的確に把握し、バスやデマンド交通のほかタクシーの活用など、地域の実情に応じた実効性あるものとするのが大切です。

一般質問 まちづくりを問う

12月定例議会では、19人の議員が登壇し、質問を行いました。
質問と答弁の内容を要約して、お知らせします。

早急に「総合土地調整局」の設置を

市長／国・県の動向を確認し、検討



議員 範男 佐藤

税は2511件である。

議員 不動産登記で、最終登記が50年以上前の土地の対象者数はいくらか。

市長 合併前の登記状況の確認は、困難である。

議員 水田農業の営農計画書や農地台帳の実態は。

市長 所有者の不明な水田は存在しているが、その数は把握していない。

農委会長 相続未登記の所有者不明農地はあるが、詳

細は把握していない。

議員 市の土地管理体制の総合調整機能を担う「総合土地調整局」を設置し、啓発活動を展開すべきだ。

市長 重要な課題であり、国・県の動向を確認しながら、検討する。

市道栗原辻前線は

議員 市道栗原辻前線整備事業は、工事中の市道辻前遠掘線や県営ほ場整備事業「稲屋敷袋地区」の進捗を踏まえ実施する予定だが、両事業の進捗状況は。

市長 市道辻前遠掘線は、第2期事業で地権者との用地交渉中である。ほ場整備事業はほぼ順調で、平成30年度に採択の見とおしだ。

議員 国道4号への接続ルートの検討結果は。

市長 5ルートを検討中だ。交通特性や利便性、経費などを精査し、慎重な検討を要すると考えている。



静かに土地の所有者不明化が進行

入の沢遺跡を活用した町づくり

市長／栗原の歴史や魅力の発信地としたい



議員 勝義 かつよし
相馬 そうま

議員 バイパス工事過程で入の沢遺跡が発見、国の史跡の文化財と指定されており、市の文化財の宝庫として全国にPRすべきと考え、次の質問をする。



富野地区の入の沢遺跡

一、入の沢遺跡を市が取得して整備保存し、公開すべきと考える。

二、伊治城跡整備基本計画の中に、入の沢遺跡との連携について組み込んでほしい。

三、城生野神楽なども含め富野地区全体を「歴史をたどる文化の地区」として整備してはどうか。

四、入の沢遺跡の要因により、国道4号バイパスの進捗状況への影響は。

市長 この地域は国の史跡に指定された歴史上、重要な場所である。今後、両史跡の保存、活用、整備を進めるとともに、栗原の歴史遺産を次世代に継承できる様、取り組んでいきたい。

議員 野球部グラウンドの移設は平成27年から協議されていることで、県との共通認識の中での進捗状況はまた新設グラウンド周辺の道路整備について。

市長 新設グラウンドについては、県とこれまで協議が数回行われ、調整すべき事項を確認している。また周辺道路は市の中核ゾーンとなる重要な場所なので、グラウンドの計画が確定次第、県との協議を進めていきたい。

築高野球部グラウンド

除融雪事業者を育成せよ

市長／地域貢献など総合評価方式を試験的に導入



議員 貞光 あだみつ
阿部 あべ



丁寧な除雪を心がけて

議員 オペレーター育成支援の効果は。

市長 今年度まで5名が車両系建設機械運転講習を修了し、除雪機械の運転が可能となっている。

議員 「地域の守り手」である事業者が除融雪作業から撤退する動きが問題とされている。本市の状況はどうか。更なる育成策を求めたい。

議員 評価落札方式を試行する。捕獲鳥獣処理の負担軽減を図りたい。

議員 捕獲鳥獣の処分は埋設などで行われているが限界がある。捕獲頭数の増加を見越し処理方針・処理場建設・シビ工活用を含め計画を示すべきと考える。

市長 捕獲実績や処理方法を踏まえながら、県や実施隊などの関係機関と協議し、広域連携による処理など他の自治体の取組み事例を参考に研究していく。

議員 農地管理事業はどう変わるか。

議員 農業委員会と農地中間管理機構との連携にかかわる活動方針が示されている。マッチングを含めどう変わるか。

農委会長 国の指導のもと、統一的な活動方針や活動を関係機関で共有し、地域の推進体制の強化と連携を図る事を定めたもので、これまでの活動と同様の内容である。中間管理機構から農業委員会のほうでマッチングをしたものを上げる様に指導されている。

市民の声

市長／今後も検討する



にりぬま かずたか
濁沼 一孝 議員



要望されている市道上田線

議員 平成20年岩手宮城内陸地震により市道上田線は、甚大な被害を受けた。議会でも請願が採択されている。早期の整備を。

市長 今後も必要性、緊急性、費用対効果などを十分調査の上、検討する。

議員 国道398号と市道御蔵線との交差点の早期の整備を。

市長 交差点改良事業を平

成25年度より着手している。交渉が整いしだい早期完成を目指す。

議員 築館工業団地の整備にかかる進捗状況を示せ。

市長 企業進出ニーズに即座に対応できるように早期の造成をお願いしているが知事への要請も重ねて行う。

議員 築館インタ、若柳金成インタ、両工業団地は今、操業開始に向けて整備が進んでいる。今後は工場で働く従業員の確保が課題になる。金成総合支所西側に住宅団地の建設を提案するが市長の見解を伺う。

市長 新たな住宅団地の造成計画はないが必要に応じて検討する。

議員 栗駒地区での各種イベントは栗駒みちのく伝創館が活用されている。イベントが開催される時は高齢化のため、会場の設営が大変である。移動式の観客席の設置を要望する声があるが市長の見解を伺う。

教育長 建物の床や壁の構造上の問題、観客席を収納するスペースの確保のため、利用スペースが狭くなるなどの課題が多く問題があると考え。今後研究を行う。

クロベを国の天然記念物に

市長／平成30年度に現地調査する



さとう ちあき
佐藤 千昭 議員

議員 栗駒山系に日本最大級のクロベが自生している。樹齢千年以上と推定され、国の天然記念物に指定されるほどの巨樹である。これまで2度質問しているが、その後の経緯を聞く。

教育長 平成19年度からクロベ所有者の国と協議を重ねてきたが2度の震災により休止状態となっていた。平成26年度より再協議を行い、クロベまでの道を市が借り受け管理用道路として借地契約を締結している。

議員 天然記念物指定に向けてのスケジュールは。

議員 記念物に指定したい。指定後、保護対策および注意喚起の説明版などの設置に向け関係機関と調整を進める。県・国の天然記念物にも指定されるよう働きかける。

議員 市内の松くい虫の被害の推移を聞く。

市長 平成7年度が被害量のピークでその後減少傾向にあったが、近年異常気象の影響もあり多くなっている。

議員 予防や駆除は。

市長 予防は、薬剤の地上散布と樹幹注入で、駆除は、伐採薫蒸で被害の拡大防止に努めている。今後とも定期調査や巡視パトロールに基づき対策に努めていく。

議員 選挙の投票所のバリアフリー化が遅れている。早急に対応されたい。

市長 投票所のバリアフリー化は避けて通れない。選挙管理委員会と協議の上、即行で対応する。



千年クロベ

患者と家族を支える支援体制強化を

市長／推進員配置、サポーター養成など進める



さとう 悟 議員

職の無い就労環境整備への支援体制が重要である。

市長 ①各年度の介護保険

議員 ①第7期（平成30、32年度）市介護保険事業計画の第1号保険料（基準の第5段階）と軽減措置は、どうか。

②認知症の人と家族を支える仕組み作り、サポーター養成拡充、介護・子育て離

大は、未定である。
②「安心ガイド」での啓発、地域支援推進員の配置、サポーター養成、「認知症カフェ」などのやさしい地域づくりを進めていく。



認知症サポーター養成講座

議員 ①人事院は、官民較差に基づき、月例給を631円（0・15％）一時金を0・1月引き上げる、実施時期は、平成29年4月1日とする勧告を行った。市は、国・県に準拠して改定すべきである。

②市行政・職員の多忙化、長時間労働、健康被害が心配されている。時間外労働の管理、業務改善は適切に行われているか。

市長 ①国家公務員準拠を基本に完全実施する。臨時・非常勤一般職員は、人勧の初任給引き上げ額を参考に平成30年1月1日から増額改定の予定である。

②所属長が命令し、健康維持など過度な長時間労働にならないよう適正に管理している。所管課内で改善できるものは、所属長から指示・実施し、複数の課にまたがるものは、企画課で集約・調整し進めている。

「いのちを守る」取り組みを

市長／検診の受診勧奨など重要性の啓発に努めている



みうら よしひろ 議員

議員 女性特有のがん、乳がん（自分で発見できる唯一のがん）といわれている。情報の提供を推進することが重要である。①入浴時の自己チェックに利用できるシート（お風呂場に張れる）を配布する事業を導入しては、②啓発する情報を載せた「ドアノブプレート」を配布する事業を導入しては、（表側は「月に一度は自己検診をしましょう」と呼び掛け、その方法をイラストで紹介。裏側は、なりやすい要因などを記す。チラシはしまい込むと目にしなくなるが、ドアノブプレートはよく目にするため注意を喚起しやすい。）

市長 ①②どのような方法が検診の啓発普及に有効なのかを検討しながら、一層の啓発活動に努めたい。



ドアノブプレートの事例

行政組織改編（産業経済部）の先を問う

議員 ①農政の司令塔としての役割はどう変わるのか。

②放射能対策は、すべて新たな部署で対応するのか。
③商工振興は、④企業立地の今後の方向性と展開は。

市長 ①農業政策課と農林畜産課で担当。②農林業対策とともに、現状業務を引き継ぐ。③観光振興、道の駅整備などを推進する事務、商工業の振興や企業立地及び誘致施策に関する事務を合わせて行う。④社会情勢の変化に対応し、展開する。

【その他の質問項目】

一般質問の「その後」は①「介護マーク」は、②子ども議会を開催は、③「健康マイレージ」事業は。

学府くりはら、郷土出身の及川平治先生に学べ

市長／及川平治先生の資料の移動と講演会の開催を検討



たかはし かつお 議員
高橋 勝男



及川平治先生の胸像と記念碑（若柳ドリームバル）

議員 栗原市若柳出身の教育者「及川平治」先生の教育理念について伺うと共に、今の教育にどう活かされているか。

教育長 及川平治先生の教育理念は「分団式動的教育法」という指導法で、学ぶ子どもの側に立ち、知識注入の画一的な教え込む教育から、子どもが自ら問題を発見し、解決の仕方を学ぶという「学びを学ばせる教育」である。子どもの実態や能力には個人差がある事

からグループ学習や個別指導が行われており、今の教育現場に活かされている。

議員 及川平治先生を知ってもらうために、若小で保管している資料を教育研究センターに移動してはどうか。また、市で、及川平治教育講演会を開催しては。

教育長 資料の保管場所については、若小と相談し、教育研究センターのスペースなどを検討し対応する。また、教育講演会については、PTAとも協議する。

議員 岩ヶ崎高校と栗駒中学校を想定した中高一貫校の進捗状況は。

教育長 県の教育長に、中高一貫教育校の創設の考えを伝え、実現の可能性について協議を行ってきた。

議員 県によって、中高一貫教育のやり方に違いがある。調査研究を行い、栗原市方式を県に発信する事も必要ではないか。

教育長 中高一貫教育校は必要。先進事例の課題や学校現場の考え方、県との役割分担など、課題を分析し、どのような連携が望ましいか、さらに研究していく。

循環器・呼吸器病センターの跡地利用 住民要望はどう反映されているか

市長／県と仁泉会の協議を注視していく



ねまくら たけし 議員
沼倉 猛

議員 県立循環器・呼吸器病センターの跡地利用は「仁泉会」に決定の方向にあると報道されているが地元要望は反映されているか。

市長 施設内に地域交流スペースを作る。職員は地元



山間地でがんばる

雇用を優先する。施設で消費する物品は地元で購買し、地域経済への貢献に努める。将来は子育て支援施設を検討する。クリニックは内科で誰でも受診できる。などが現在知り得る情報である。

農業施策をどう進めるのか

議員 農村の高齢化、後継者不足は深刻だ。市の農業人口はこの10年間で1万5

413人減少し、農業生産額も133億円余り落ち込んでいる。企業農業、大規模農業のみの推進政策で家族農業切り捨て政策によるものではないか。

市長 農業の後継者不足は重労働などの理由で若者から敬遠されたのではないかと。農機具の高騰などで小規模農家が立ちいけなくなっているものと思われる。

議員 国は企業農業、大規模農業を推進している。栗原市も平成37年までに全農地の78%を750経営体に集中させるとしているが、農村の人口減を加速させ地域経済の衰退になる。

市長 これからは自分で稼ぐ農業から勤める農業へと概念を変える必要がある。

議員 大規模農業だけでなく、やる気のあるすべての農家を対象とした施策の充実を国に要請すべき。

市長 偏りのない農業政策を国、県に要望していく。

伊豆沼・内沼に観光客用のトイレ設置を

市長／鳥獣保護区の地域指定あり国・県と協議



議員 庄喜 しょうき 佐藤 さとう

議員 早朝、マガン、白鳥の飛び立つ瞬間を観察撮影のため多くの方が来訪する伊豆沼・内沼に観光客用のトイレ設置を。

議員 栗原市中小企業振興条例の状況に関し委員数、会議回数、意見内容提示とそれらの対応、遂行は。

市長 中小企業振興のための課題など意見交換を行う栗原市中小企業振興会議を委員20人以内で構成し今年度中に開催する。

議員 栗原市雇用拡大奨励

ある。鳥獣保護区の地域指定あり国・県と協議する。農道橋完成後、駐車場整備も含め検討する。

金制度について、奨励金増額、新規卒者終了後3年以内を5〜7年に条件緩和を。

市長 制定時の平成18年より5万円、平成22年より20万円、平成27年より地方創生先行型交付金を活用し30万円を交付する。近年は売り手市場で事業所内で純増した場合、増加の人数に交付。現在、受付中である。

議員 「伊治 城の読み方」を「これはり」城の一本化にしてはどうか。

教育長 文化庁のデータに伊治城跡の読み方が「いじょうあ」とあり一般的現代の読み方の「いじょう」とし複数の読み方について誤解なきよう説明していく。

議員 「歴史とロマンの市 栗原」のため充実した歴史博物館を建設しては。

教育長 市内の博物館類似施設で展示、体験、説明会など実施し有効活用する。



ガン飛び立ち撮影人気スポット

すぐ取り組め「人口増施策」

市長／仲人報奨金制度を研究



議員 佐々木 嘉郎 ささき 嘉郎



未来を担う若者たち（市成人式で）

議員 人口の社会減少にどう取り組むか。

市長 市の将来人口は、2025年は5万9969人、2060年は3万5036人と推計した。若者の移住・定住促進に積極的に取り組む。

議員 現在の出生率1.50を、平成47年には2.07とみている。計画達成のためまず結婚してもらうことが重要だ。「仲人報奨金制度」を考えるべきでは。

市長 結婚に関する意識調査では、未婚者の7割が結婚したいと答えている。提言を受け止め、他自治体や民間の例を参考に研究する。

議員 過疎化の進んだ自治体で仲人報奨金制度をつくり、実績もあがっている。力を入れて欲しい。

市長 特効性のある方策を取っていききたい。

議員 岡山県津山市では、地元に戻って就職すれば、72万円奨学金返還を免除している。取り組んでは。

市長 どんな施策が必要か精査する。来年2月、一部給付型奨励金を検討する。

議員 市の計画では、人やモノの流れをつくるため「へそ」となる中核機能地域を整備する、とある。どのようなイメージか。

市長 中央病院、4号バイパスと県北幹線道との交差点、高原駅周辺だ。民間活力による開発も考えている。

議員 買い物や交通困難者の足の確保が不可欠だ。具体的改善策を示すべき。

市長 使い勝手の良い、持続可能な公共交通システムを検討中だ。

三迫川河川公園・使いやすいように改善を 市長／歩行者に配慮した形に改善していく



おの きゅういち 議員
小野 久一

議員 栗駒岩ヶ崎の三迫川河川公園の施設案内版は何が書かれているか、わからないほどに錆びついているが直すべきでないか。また公園内遊歩道に降りる2本の道に車止めのチェーンが張られている。散歩に利用する歩行者が通れない状況であり、何らかの工夫が必要ではないか。

市長 この公園は現在、市の都市公園として管理している。案内板についてはご指摘のとおり劣化が進んでいることから修繕をしてい



錆びて読み取れない案内板

く。河川堤防からの進入路については河川区域内を利用している公園であることから、車両の侵入防止のため施錠しているが今後、歩行者に配慮した形態へ改善をしていく。

新設する市役所南側 駐車場にトイレを

議員 9月議会において公衆トイレ設置の提言をしたが、検討することだったので再度質問する。

この場所は災害発生時には多くの住民や支援関係者が往来するところとなる。人間にとって生理的・精神的な苦しみの解消や、トイレがあることよってできる気持ちのゆとりは最良の喜びではないか。この近辺を利用される方、イベントで来場される方などのことを考えて是非公衆トイレの設置を求める。

市長 近くにコンビニや市役所がある。公衆トイレの設置には数千万円、維持管理に年数百万円かかる。設置の必要性・緊急性は高くないと判断している。

有害鳥獣の抜本的な対策を

市長／県や関係機関と連携し対応



さとう ふみお 議員
佐藤 文男

議員 鳥獣被害は年々深刻になっている。市内の有害鳥獣の生息分布はどうか。また、捕獲された有害鳥獣の放射能測定はどうか。

市長 ツキノワグマやイノシシは市内全域で目撃がある。特に栗駒・花山・一迫・鶯沢・金城地区で多い。また、



二ホンジカに踏まれ刈り残された稲

独自に放射能測定は行っていないが、県の放射性物質モニタリング調査においては国の基準を超えるセシウムが検出されている。

議員 鳥獣被害対策実施隊の処遇改善を図るべきでは

市長 実施隊には捕獲や状況の確認、わな設置や見回りなどへ費用弁償、わな設置には謝礼を支払っている。報酬の見直しは、他の自治体の事例を参考にしながら実施隊と協議していく。

議員 仮称鳥獣被害対策課

ホールボディカイウ ンターの測定実績 と今後の方針は

議員 原発事故により市民の内部被爆による健康被害が心配されることから、市設置によるホールボディカイウンターの測定が行われているが実績はどうか。また、希望者があるうちは続けるべきと思うが。

市長 平成25年度は3475人、29年度は11月末現在で110人となっている。市民の健康不安解消のため、測定は継続する。

市民要望の見える化導入を

市長／情報の共有化は非常に大事な提言



高橋 将 議員

梶（じくじ）たる思いである。今後、制度設計含めて検討する。

議員 市民要望に対しての返答が無く不安という声を聞く。一次回答を丁寧に行い、市民の不安を解消してはどうか。

議員 総合支所の機能強化のため、支所間での市民要望受付・管理体制を一元化し、支所間での情報共有を行なってはどうか。

市長 情報管理体制を見直すことで、支所間の連絡もスムーズになると感じる。

議員 要望の受付・進捗状況を市民に伝え、市民と問題意識を共有することにつ

市長 概略説明はしていると感じているが、詳細はなかなか伝えられないのは悩

議員 現状と課題は何か

議員 現在、実現できているか。

男女共同参画実現に向けて

市長 市民意識調査による認知度は着実に上昇しており実現に向かっている。

議員 現状と課題は何か

市長 職場での男女の地位について格差は正の割合が上昇している一方、家庭では低下している。男女の固定的な性別役割分担意識が根強くあることがうかがえる。

議員 男女共同参画が栗原に与える影響は。

市長 性別にかかわらず、個性と能力が十分に発揮でき、真に住みやすいまちになる。女性が活躍の場を取ることができるように努めたい。



性別にかかわらず活躍できるまちづくり

オンライン診療導入の調査研究を

市長／科学技術の推移を勘案し検討



菅原 正剛 議員



スマホのテレビ電話で診療できる時代へ

議員 スマートフォンのテレビ電話で、医師に診察してもらえ、オンライン診療が、国の方針を受け、福岡市など多くの自治体で取り組みを始めています。通院に移動時間がかかる方や仕事でなかなか通院できない方のために診療ができ、医師の負担軽減にもつながるオンライン診療導入に向けて調査研究をしてはどうか。

病院管理者 国では、年度末を目的に情報通信機器を用いた診療に関するガイドラインを作成するので動向を注視していく。

市長 今後科学技術の推移を勘案しながら検討する。

教育行政について

議員 ①公民館施設について、今後の活用及び管理運営はどのように考えてい

るのか。②少年教育の中のジュニア・リーダー活動の位置づけや今後の方向性、シニアリーダー（OB・OG）との連携についてどのように考えているのか。

教育長 ①公民館が複数ある地区と一館のみの地区があることから、各地区一館に集約し、公民館として使えない施設については、コミュニティ施設の活動拠点として活用できないか検討する。②ジュニア・リーダーは、子ども会活動など児童が多様な体験活動に取り組めるよう、指導や助言を行い、青少年の健全育成推進の一翼を担っている。青少年教育の核となるよう活動を支援する。シニアリーダーとは、初級研修の講師など技術支援や助言をいただくなど、今後も連携を図っていく。

総合支所の機能を強化すべき

市長／本庁との連携をさらに強化



みづつか あずま
三塚 東 議員

議員 現在、総合支所長には500万円未満の工事が執行できる体制となつている。500万円以上の工事が執行できる権限を与えるべきではないか。

市長 特に緊急性が高い事業は、本庁の管財課などと総合支所がよく調整し、予算の再配分などで対応しているので支障ないと思う。今後、身近な住民の要望などに対し、素早的確に業務ができるよう、本庁と総合支所の連携をさらに強化していく。



総合支所は地域住民の窓口

議員 総合支所の機能の充実、地域振興に欠かせない。特に高齢化率の高い地域にとつて、きめ細かな保健指導を行うには保健師の常勤化が必要である。現行の保健推進室5ブロック体制を改める考えはないか。

市長 保健推進室の5ブロック化は、若年層や未婚者の妊娠や出産、産後の鬱(うつ)、経済的な問題での自死など、さまざまな緊急的に対応する問題が山積し、相談事例の増加が見込まれたことから、複数の保健師で対応することにより、市民サービスの向上と緊急的に対応できることから平成23年度に設置した。現時点では、現行の5ブロック体制を継続していきたい。

今後、地域包括ケアシステムを構築する予定で、旧町村10地区にコーディネーターを1人ずつ配置する。保健師のみならず、地域包括支援センターさらにはコーディネーターと連携を図りながら、きめ細かな福祉政策の充実に努めていきたい。

特産認定品「栗駒山麓のめぐみ」を活用せよ

市長／ジオパークの情報発信と販路拡大を推進していく



ゆきひろ さわ
幸浩 議員

議員 栗原市から認定を受けた、栗駒山麓ジオパーク特産商品「栗駒山麓のめぐみ」の活用について聞く。

活用の際し、新しい観光施設、観光拠点、観光物産施設の利用や、市民協働による認定商品のブース販売など、積極的に販売を推進するべく、その施策を問う。

市長 認定商品の活用については、ジオツアーを始めジオパーク学習、各種講座や研修会、市内外からの視察の際など、様々な活動の場における利用や観光施設、直売所での販売を始め、多くの方が認定商品を味わえる機会をつくり、「栗駒山麓のめぐみ」を活用したジオパークの情報発信と認定商品の販路拡大に向けた



暮らしに直結する案内表示板を

取組みを推進して行く。

議員 児童遊園のトイレ設置の現況について聞く。現在、築館子育て支援センター裏にある広場には、トイレの設置がなされていないが、近隣の子供たちや保護者の方などにおいて利用頻度も高い中で、不便で困っている声を聞くが、トイレの設置を強く望むものであるがどうか。

市長 この施設は、築館子育て支援センターの野外遊技場の位置づけとして設置したことから、現在トイレは設置しておらず、今後、利用状況の推移を注視し、周辺施設の状況等も勘案しながら検討していく。

議員 「くりはら斎苑」の案内表示板を主要道路沿いに設置して、案内の不便性を改善してほしいがどうか。

市長 今後設置場所や箇所数も含めながら、道路管理者など関係機関と協議し、検討していく。

東京五輪ホッケーキャンプ地誘致 外れたのはなぜ

教育長／人工芝の仕様と練習相手がいないこと



いしかわ まさよし 議員

議員 市はホッケーの町くりはらを掲げ、ホッケー場などの施設整備を行いホッケーの強豪チーム、オーストラリアを五輪事前キャンプ地として誘致するため取り組んできた。ところがオーストラリアホッケー協会からキャンプ地として他の2ヶ所を特定しており、栗原市への予定はないとのことだが、なぜ栗原が外れたのか。その要因は。

教育長 東京オリンピックのホッケー競技場で採用される人工芝の仕様と、日本リーグに出場しているホッケーチームが近くにいないため練習試合が出来ないことが要因である。

議員 今後、他の国のホッケーチームの事前キャンプ



築館多目的競技場

誘致をどう進めていくのか。

教育長 市は日本ホッケー協会公認のホッケー場を2面有していることや競技場の環境、宿泊施設などのアピールの結果、早速興味を示した国の協会があり、今後は大使館などの協力要請を行い実現に向けて取組んでいく。

議員 県内で唯一ホッケー

の盛んな栗原。将来のホッケー人口を増やし継続していくため市内小学校5校にホッケー用具一式を配布したがその効果と指導体制は。

教育長 初めてホッケーを体験する子どもが多いが楽しく実践している。ホッケーというスポーツを知り興味を持つことで底辺の拡大と競技人口の増加につなげていく。また指導体制はホッケー協会の協力を頂きながら実施している。

ホッケー用具配布校の取り組みについて

放課後児童クラブ委託料 7800万円減額の理由は

教育長／利用児童数、支援員、消耗品の精査による



すがわら ゆうき 議員



小学校敷地内の放課後児童クラブ（若柳）

議員 今議会に放課後児童クラブ委託料の減額補正7800万円が提案されている。「精査による減額」と説明されたが大幅減額の理由は。

教育長 当初予算では、利用児童数914人、支援員数125人と見込み2億3172万1000円予算措置した。委託契約にあたっては利用児童数880人、支援員数90人と見込み栗原市社会福祉協議会と1億7057万4000円で契約

を結び業務運営を行ってきた。今回、上半期終了し、利用児童数の推移、支援員の配置および消耗品などの見込みもついたことから年間所要額を1億5372万1000円と見込み当初予算額と決算見込み額の差額7800万円を減額することとしたものである。

議員 人件費については、法に照らして、まっとうな支払いが行われているか。

教育長 委託先の栗原市社会福祉協議会では業務運営にかかる支援員などについて雇用する際、関係法令に基づいた労働条件通知書を示し両者合意のもと業務にあたっていると伺っている。

議員 時間外勤務手当の割増賃金0.25分支払っていないと仄聞（そくぶん）するが承知していないのか。事業実施記録5年間保存するとの委託契約であり、5年間さかのぼって支払っては。

教育長 対象者78人に平成27年4月にさかのぼって支給する報告を受けている。私どもとしても詳細を確認しながら相談させていただく。

栗原は歴史ロマンの里

私たちが住む「栗原」は栗駒山の麓で四季折々の自然と歴史文化の宿る「白鳥と歴史ロマンの里」です。

富野地域に、1250年前陸奥国最北端の政治・軍事施設「伊治城」を造営し、栗原郡が置かれ、城名「これほり」が栗原地名の語源です。また古墳時代前期(四世紀)大和政権に連なるリダーが住んだと見られる「入の沢遺跡」が発見され、学術的に貴重な遺跡として全国的に脚光をあびています。こうした先人たちの努力によって育まれてきた栗原の歴史文化を、守り伝え活かしたまちづくりをしたいと「富野地域づくり協議会」では、歴遊ロマンウォーク、子供たちによる古代米作りや歴史探検ウォークラリー、民族芸能(神楽)伝承まつりなど実施しています。

栗原の地は歴史ロマンに誘われる地が多く、はるかな昔の壮大な歴史を発信できる歴史博物館、史跡公園の整備を期待しています。



斎藤 義憲さん
(築館)

私もひとこと

男女共同参画社会の形成



佐藤 けい子さん
(若柳)

私が入っている「くりはらチャレンジ(Learning)」では、毎年「いご・市民セミナー」の受講、栗原市議会議員との懇談会、栗原市議会の傍聴を実施していますが、市長さんはじめ議員の皆さま、そして職員の皆さまが、くらしい栗原を創ることに意気込みを強く感じます。

少子化問題が解消されず人口減少が止まらない訳は様々あると思いますが、私は、一番は労働環境の悪化(非正規雇用、低賃金、長時間労働)だと思えます。家庭を共に育む両親が、経済的に精神的に安定していない事が子育ての弊害となり、少子化につながっていると感じます。

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)と地域活動の活性化を目指し、男女共同参画社会の形成を推進して、誰もがいきいきと暮らすことができる栗原市の実現に、議員皆さまのご尽力に期待いたします。

あとがき

明けましておめでとうございます。今年の冬は厳しい寒さが続くようです。健康にも車の運転にも注意しなければと思っています。12月議会は19人が一般質問に立ち、3日間とも時間を延長する激しい議論が行なわれました。本号に載せておりますので是非ご覧ください。

11月には広報編集調査特別委員会の先進事例調査を実施し、利府町議会と東京都あきる野市議会とで研修してきました。この2年の任期の中で市民に興味をもたれ、読みやすいと言われるような紙面づくりに努力します。新人議員全員が編集委員で、やる気満々ですのでご期待ください。

小野 久一
広報編集調査特別委員会

- 委員長 佐藤 正 剛
- 委員 菅 原
- 委員 佐藤 庄 喜
- 委員 小野 久 一
- 委員 澤 邊 幸 浩
- 委員 鹿野 芳 幸
- 委員 高橋 将 幸
- 委員 菅 原 真 光
- 委員 阿部 健 治郎
- 議長 瀬戸 健 治郎

